

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	王朝物語の精神史		
英文授業科目名	The Spiritual History of Heian-Monogatari		
開講年度	2004年度	開講年次	3, 4年次
開講学期	5, 7学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-上級講義		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	島内 景二		
居室	東1-815		

公開E-Mail	授業関連Webページ
shimauch@bunka.uec.ac.jp	

<p>【主題および達成目標】</p> <p>平安時代に書かれた『源氏物語』や『伊勢物語』。その大昔の物語が、明治時代の近代文学の出発に際して、大きな役割を果たした。</p> <p>夏目漱石・森鷗外はもちろんのこと、大衆の人気を博した尾崎紅葉も、夭折の天才として一瞬の光芒を放った樋口一葉も、皆、「古典」を学び古典を乗り越えて、自分自身の「近代」を発見したのだった。</p> <p>そして、与謝野晶子。彼女の「現代語訳」という発明によって、「古典」は永遠に古典となってしまう、現代人から遠のいてしまった。その果てに、漫画本の安易な大流行がある。</p> <p>この講義では、「古典を読む」ことの本当の意味を、諸君にわかってもらいたい。それは、文科系だけの問題ではない。科学の古典を現代人がどう読むべきかに関しても、諸君は考えるヒントを獲得してほしい。</p>

<p>【前もって履修しておくべき科目】</p> <p>特に、なし。</p>
--

<p>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</p> <p>特に、なし。</p> <p>ただし、「文学A」「文学B」を受講しておけば、より楽しく、より深く、学習できるに違いない。</p>
--

電気通信大学 平成16年度シラバス

【教科書等】

教科書：島内景二著『文豪の古典力』（文春文庫）

【授業内容とその進め方】

まず、『源氏物語』と『伊勢物語』の概説を行う。

次に、夏目漱石が学校教育で、どまように『源氏物語』を読んだかを説明する。

ついで、森鷗外や尾崎紅葉が、自分の文学世界の確立に際して、どのように『源氏物語』を利用したかを講義する。

ひきつづき、樋口一葉が、どのようにして「天才」となったのか、という苦闘の歴史を「古典の学習」という観点から説明する。

最後に、与謝野晶子の現代語訳に潜む問題点と「罨」を説明し、安易な古典入門を戒める。

この講義全体を通して、諸君にとっては「新鮮な日本文化史」を提供したい。

『源氏物語』の原文は読まないが、必要最小限で古文にも触れる。ただし、「文法の知識」は、不要。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

学期末の論述式試験の成績を最重視する。ただし、学期途中に小レポートを課す。この小レポートを未提出であれば、試験の成績からワンランク下げる。また、時々、出席を取る。

講義内容を理解しているかどうか、批判的に考えながら受講できたか、自分自身の見解を試験答案に盛り込めたか、それらを勘案して最終成績を決定する。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

四年生の出席率が、非常に悪い。就職関係でほとんど出席せずに（出席できずに）試験だけ受ける学生が例年多いが、まず単位取得は不可能に近い。

また、教科書を一度も読まずに試験を受ける学生もいるが、こういう「行き当たりばったり」の態度は、非常によくない。

【その他】